

令和7年10月21日

兵庫県福祉部高齢政策課  
課長 石井輝昌 様

兵庫県定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業者連絡協議会  
会長 田辺 智子

### 定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスにおける人材定着・業務支援に関する総合的提言

兵庫県では高齢化率は29.3%となり、2030年には32%、2050年には39.5%と予測され、10人に4人が高齢者となる見込みとなっており、すでに40%を超えている地域も見られます。誰もが、住み慣れた地域で最期まで在宅生活を継続できるように、平成24年に「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が創設され、兵庫県においては看護小規模多機能と合わせて令和12年までに300事業所を開設すると整備目標数が設定され、県内99事業所（令和7年7月現在）でサービスを提供しています。

しかし、現場ではサービスの継続的な提供のために人材確保・物価高騰への対応・ハラスメント対策・業務効率化等の課題が山積しており、以下の項目について支援強化を要望いたします。

#### 1.人材定着・確保への支援

- ・定期巡回サービススタッフの技術向上のための研修、教育への支援補助（訪問介護技術、運転技術、交通安全教育等）
- ・夜間帯訪問への安全対策の支援補助
- ・外国人介護職員への理解促進

#### 2.持続可能な経営への支援

- ・人件費、物価高騰に対応する継続的な支援
- ・ご利用者、ご家族へのカスタマーハラスメントについての周知、広報
- ・定期巡回サービス魅力発信（県民周知）

#### 3.業務効率化・サービスの質向上への支援

- ・近隣市町へのサービス提供の緩和及び手続の簡素化
- ・在宅サービスに特化したICT化推進
- ・在宅サービスの酷暑対策への支援補助
- ・定期巡回の計画作成責任者研修の創設

以上